

正の数, 負の数 (5)

【1】 次の問いに答えなさい。

- (1) 絶対値が 4.1 よりも小さな整数は何個ありますか。
- (2) $-\frac{8}{3}$ よりも大きくて, 1.3 よりも小さい整数をすべて答えなさい。
- (3) -1.5 よりも小さな整数のうち, もっとも大きな数を答えなさい。

答え (1) 9個 (2) $-2, -1, 0, 1$ (3) -2

【2】 下の 7 つの数について, 次の問いに答えなさい。

$$+4, -2.7, 0.5, -5.4, +\frac{3}{2}, -\frac{1}{4}, +\frac{10}{3}$$

- (1) 絶対値がもっとも大きい数を答えなさい。
- (2) 絶対値が 2 より小さい数をすべて答えなさい。
- (3) 数直線上で, 0 にもっとも近い数を答えなさい。

答え (1) -5.4 (2) $0.5, +\frac{3}{2}, -\frac{1}{4}$ (3) $-\frac{1}{4}$

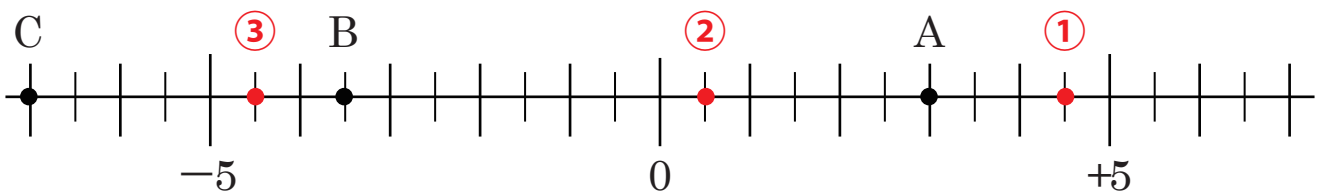
【3】 次の各組の数の大小を, 不等号を使って表しなさい。

- (1) $-9, -5$ (2) $+\frac{5}{3}, -2.7$
- (3) $-2.5, -4.9, +3.6$ (4) $-\frac{6}{7}, -\frac{8}{3}, -1.5$

答え(1) $-9 < -5$ (2) $-2.7 < +\frac{5}{3}$ (3) $-4.9 < -2.5 < +3.6$ (4) $-\frac{8}{3} < -1.5 < -\frac{6}{7}$

【4】 次の数直線で, 点 A, B, C に対応する数を, 整数または小数で答えなさい。

また, ①, ②, ③の数に対応する点を, 数直線上に表しなさい。



- ① $+4.5$ ② $+\frac{1}{2}$ ③ $-\frac{9}{2}$

答え A $+3$ B -3.5 C -7